



第11期 年次報告書

2011年4月1日～2012年3月31日



株式会社 **ベリサーブ**

第11期 決算ご報告にあたって

謹啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2012年3月期決算につき、ご報告をさせていただきます。

期初には、東日本大震災の影響が残り、期の半ばにはタイで発生した水害の影響がグローバル化する日本の製造業を直撃しました。更に欧州の信用不安をきっかけに円高が進行し、戦後最高値を更新する事態となり、日本にとっては、まさに国難と言える年でありました。

このような中、弊社検証サービスを顧客に提供するべく

注力してまいりました。売上高は、前年を上回る水準に達したものの、先に述べたような状況で新製品開発が影響を受け、またデフレ経済下における厳しいコストダウンの要求に対応しており、利益面では当初計画を下回る水準となりました。また、昨今マスコミ報道等により、とりあげられております「AIJ投資顧問株式会社による年金消失問題」により、誠に遺憾ではありますが、弊社親会社を通じた弊社企業年金資産の一部が消失しているものとして、今回の決算で特別損失を計上することになりました。

日本の製造業は、こうした災害からのサプライチェーンの復旧に注力し、新しい競争ステージに入っており、それは新たなグローバル化でもあります。

日本におけるグローバル化とは、日本で生産させた製品を海外に輸出していくことを意味しておりました。しかし、ここに来て「製品を輸出し販売する」のみのグローバル化にとどまらず、生産はもとより、研究開発まで海外にシフトする段階に入ってきました。弊社グループといたしましては、グローバル化する顧客への対応をすすめるとともに、検証サービスレベルを向上させ、事業を拡大してまいりたいと考えております。

なお、今回の配当につきましては、当初計画どおり、期末配当を1株当たり1,500円とさせていただきましたので、今回併せてご案内いたします。

謹白

代表取締役社長
浅井 清孝



当期の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を大きく受けたものの、企業のサプライチェーンが早期に復旧しており、緩やかながら回復基調となりました。しかしながら、下期に入るとタイの洪水による影響や欧州債務問題を背景にした急激な円高により企業収益は厳しさを増しました。期末には、為替相場が緩和されるなど一部に明るい兆しが見受けられるものの、景況感は先行き不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く環境といたしましては、先に述べたように顧客である製造業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。また、国内の電力不足懸念や円高問題も影響し、製造業においては、海外における生産のみならず、製品開発においても国際化の兆しを見せており、研究

売上高

5,566
百万円

営業利益

246
百万円

経常利益

267
百万円

当期純利益

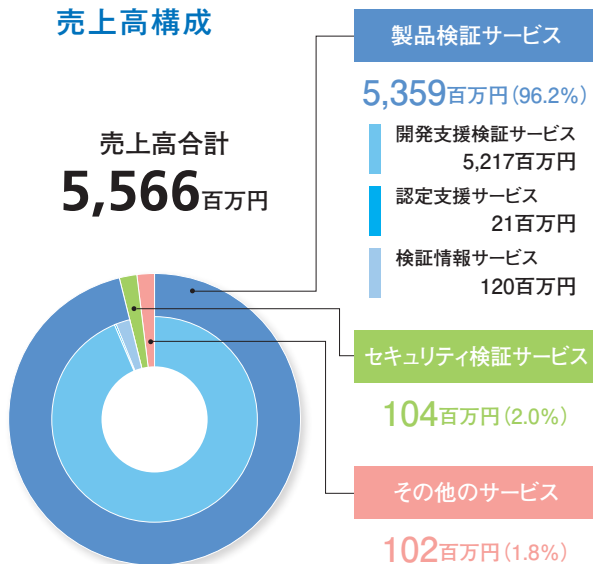
35
百万円

(注)2012年3月期より連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

開発から生産、販売にいたるサプライチェーンがグローバル化する動きを見せております。

当社グループでは、ソフトウェアテスト・検証業務におけるコスト削減のための施策をすすめるために、フルライン検証サービスや上流工程での検証業務、テストの自動化などの提案を進めております。また、海外においては製品仕向け地でのフィールドテストなどの業務を実施、お客様のグローバル化への支援サービスを行ってまいりました。また、ソフトウェアの構成を分析し、見つけづらい内在化されたコンプライアンスリスクなどにも対応した検証サービスを実施するなどの当社グループにおけるサービス拡充をすすめてまいりました。加えて、Androidなどの新たな製品分野における検証サービスの取り組みを実施しており、沖縄県うるま市の株式会社GIOT

売上高構成



に昨年末に出資しており、新たな検証業務に取り組みはじめております。

一方、お客様では、タイの洪水の影響や進行する円高に向けた競争力維持のため、製品開発の絞り込み、現行費用の一層のコストダウンを行っており、こうした影響を受け、既存案件の短期化及び新規案件の停滞により要員の稼働が低下いたしました。

加えて、2012年3月28日に開示した「AIJ投資顧問株式会社による年金消失問題」により、当連結会計年度に、特別損失128,121千円を計上いたしました。

以上のような事業活動の結果、当連結会計年度の売上高は5,566,894千円、営業利益は246,433千円、経常利益は267,203千円、当期純利益は35,772千円となりました。



10周年記念 株主優待について



2011年7月で会社設立10周年を迎えました。

株主の皆さまからのご支援に対する感謝の意味をこめ、設立10周年の節目に記念の株主優待を実施することとし、今回、年次報告書とともに「おこめ券 2kg分」をお送りさせていただきます。

今後も引き続き、ベリサーブをご支援いただけますようお願い申し上げます。



第11期の期末配当について

第11期の期末配当は、当初予定どおり下記のように実施させていただきます。

1株当たり **1,500円**

配当総額 **39,126千円**

なお、1株当たりの年間配当総額は、中間及び期末を合わせて2,500円となります。

連結財務諸表

当社は当連結会計年度より「百力服軟件測試(上海)有限公司」を連結子会社とし、連結財務諸表を作成しておりますので、前期との比較を行っておりません。

■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

	当連結会計年度 (2012年3月31日現在)		当連結会計年度 (2012年3月31日現在)
資産の部		負債の部	
流動資産	4,816,980	流動負債	530,583
固定資産	489,526	固定負債	154,107
有形固定資産	69,283	負債合計	684,691
無形固定資産	166,773	純資産の部	
投資その他の資産	253,468	株主資本	4,626,776
		資本金	792,102
		資本剰余金	775,852
		利益剰余金	3,058,821
		その他の包括利益累計額	△ 4,960
		純資産合計	4,621,815
資産合計	5,306,506	負債純資産合計	5,306,506

■ 連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	当連結会計年度 (2011年4月1日～2012年3月31日)
売上高	5,566,894
売上原価	3,928,082
売上総利益	1,638,811
販売費及び一般管理費	1,392,378
営業利益	246,433
営業外収益	30,318
営業外費用	9,549
経常利益	267,203
特別損失	128,121
税金等調整前当期純利益	139,081
法人税、住民税及び事業税	116,109
法人税等調整額	△ 12,799
少数株主損益調整前当期純利益	35,772
少数株主利益	—
当期純利益	35,772
その他の包括利益合計	35
包括利益	35,807

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

	当連結会計年度 (2011年4月1日～2012年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 42,852
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 65,444
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2,539
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 68,685
現金及び現金同等物の期首残高	3,740,104
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	33,304
現金及び現金同等物の期末残高	3,704,724

(注)各計算書類の記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。



株式の状況 (2012年3月末現在)

発行可能株式総数

64,000株

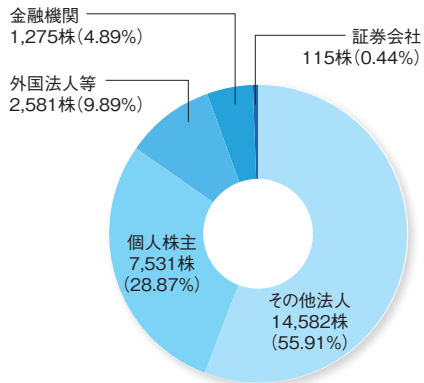
発行済株式総数

26,084株

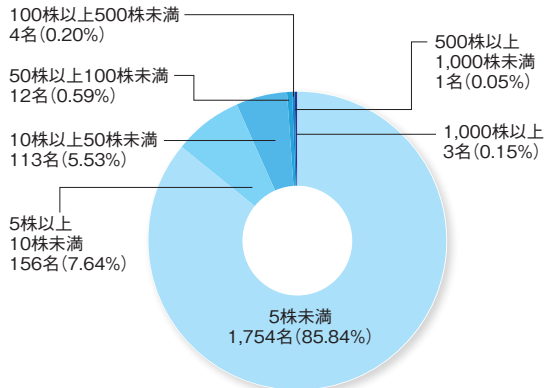
株主数

2,043名

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
SCSK株式会社	14,500	55.59
メロンバンク エヌエー トリーテイクライアント オムニバス	2,500	9.58
ベリサーブ従業員持株会	1,241	4.76
浅井 清孝	523	2.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	497	1.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	157	0.60
加藤 一夫	130	0.50
小澤 裕紀	101	0.39
高橋 豊	93	0.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	85	0.33

■ 会社概要 (2012年3月末現在)

商号	株式会社 ベリサーブ VeriServe Corporation
本社所在地	〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目24番1号 西新宿三井ビル14F
代表電話	03-5909-5700
設立	2001年7月24日
資本金	792百万円
従業員数	457名(連結)、432名(単体)
事業内容	製品検証サービス: IT関連製品(ハードウェア、ソフトウェア)の システム検証 セキュリティ検証サービス: ネットワークシステムのセキュリティ分野での検証 その他のサービス
ホームページ	http://www.veriserve.co.jp/

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 電子公告アドレス: http://www.veriserve.co.jp/ir/eprn/
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券・銘柄コード	3724

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **3724**

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を贈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com